

平成27年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	月京	新聞にも「ふるさと納税」の記事が掲載されていた。県ではあるが、岩手県では十数億の税収があったそうだ。県内では箱根や小田原でもやっており、町でも取り入れていけば税収に繋がるのではないかな。	周知がまだ行き届いていないが、町でも「ふるさと納税」を実施している。 年々「ふるさと納税」の額も増えており、またお返しも大磯の特産品を品目として増やしていければと思う。
2	月京	人口の確保について町としての試算はどのように考えているのか。	移住・定住人口の確保については、若い世代を大磯町へ呼び込もうと考えている。若い世代の中では、ものづくりや芸術家の方から住んでみたいという声が上がっている。そのような層をターゲットに置きつつ、現在問題になっている空き家、空き店舗を利用して人を呼んでいこうと考えている。
3	月京	国府橋付近の狭い通りだが、以前はゴム製のポールがあったが現在はなくなっている。学童の通学路となっているため、安全の確保のために必要なのではないかな。	なくなっている原因が工事のためであるのであれば、すぐに取り付けるようにする。
4	月京	町にある財産を活用し、若い人たちに関心を持ってもらうためにも運動公園等をより活用していくべきではないかな。町民だけでなく近隣市町の人にも利用してもらえるような運営の仕方を考えてほしい。 また、運動公園へのアクセスのために道路の拡張をしてほしい。	運動公園は外部委託をしており、町からも利活用等指導をしているが、再確認したいと思う。また、最近では海岸でのビーチスポーツにも力を入れ始めている。 運動公園の利活用について、意見をいただければと思う。
5	月京	他の自治体では、貸家や空き家に対して補助があるが、補助金や助成金は町としてはあるのか。	町としてはないが、県には空き家や企業に対しての補助金や利子補給などがある。 町には企業の施設改修や運営資金等、利子補給に対しての制度がある。
6	月京	空き家が増えている中、大磯は税収が減っているが、空き家などの今後持ち主が分からなくなり固定資産税などが回収できなくなる場合は、今後税率が上がる可能性が出てくるのか。	固定資産税の税額は地価によって変動する。しかし、税率については上がっていく可能性が無いとは言い切れない。
7	月京	税額が増えた場合、今後年金暮らしの人に対して町は補助をしてくれるのか。	今すぐに答えることは出来ないが、今後考えていく必要がある。心配があるという事は、町も受け止める。
8	月京	町には海や山などあり良い所が多くあるため、たとえばハイキングコース等整備をして良い所を出してみてもどうか。	少しずつ進めて行きたいと考えている。ある程度形になってきたら皆さんに話をして協力していただきたいと思います。